

うぐいす

CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

年4回発行
5月・8月・11月・2月

●編集発行
筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

バックナンバー
はこちらから



筑前町ファーマーズマーケットみなみの里・道の駅筑前みなみの里
(関連ページ P16)

- ▶ 9月定例会 P2～3
- ▶ 令和2年度決算審査特別委員会 P4～6
- ▶ 町政を問う 一般質問 P8～13
- ▶ 一般質問どうなった P14
- ▶ **特集** コロナに負けるな！ P15

第63号

2021.11



田中 政浩 議長

9月定例会

9月6日から17日の12日間の日程で開催された。
報告3件・承認1件・議案9件・認定7件が提案され
審議の結果原案のとおり可決した。

一般会計補正予算 7億195万円の増

令和3年8月大雨災害の復旧事業

一般会計補正予算(第5号) ※専決処分

9380万円

一般会計補正予算(第7号)

2億6817万円

8月11日～19日にかけて、多いところで1,000mmを超える大雨を記録。町内の複数箇所、河川護岸崩壊や道路路肩法面崩壊等が発生した。

一般会計補正予算(第6号)

3億3998万円

(主なもの)

○水田麦・大豆産地生産性向上事業

1億2659万円

問 事業の内容は。

答 営農技術導入支援として、農家が湿害対策技術等を実施した際の補助で、28経営体に取り組む。また、17経営体が機械導入支援として補助を受ける。

(農林商工課長)

○町営住宅改修及び補修工事

4662万円

○民間保育所への補助金

1482万円

◆地域の元気を発信する事業【企画課】 **600万円**

補正予算
ピックアップ

今年も作るよ
巨大わらがし!



今年もやるよ
打ち上げ花火!



※11/7(日)
午後8時頃実施予定
(雨天時は8日に順延)

◆ごみ減量化対策事業(生ごみ処理機購入費)【環境防災課】 **688万円**

50名のモニターを募り、高性能生ごみ処理機を
配付しアンケート等を実施する。

SDGsを念頭に置いたCO₂削減の取り組み



その他の議案(主なもの)

◇財産の取得について (校務用ノートパソコン)

- 平成26年度に導入した教職員の校務用パソコンについて、数年かけて入替えを行う。



問 納入されるパソコンの機能や使い勝手は。

答 設計仕様については、最新の情報をもとに適正に作成されている。
(財政課長)

◇財産の取得について (庁舎等に設置する顔認証サーマルカメラ)

- 施設の空間安全安心確保を図るため非接触型サーマルカメラを本庁、公共施設、学校、学童等に48台整備。

◇筑前町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

- 特別小規模保育事業を行う事業所を加える改正。国の改正を踏まえ、町の条例の関連部分の改正を行うもの。

請願・発議

国の関係機関等に意見書を提出

発議第3号

「少人数学級推進などの定数改善」「義務教育費国庫負担制度2分の1復元」を求める意見書

(請願者：福岡県教職員組合朝倉支部長)

意見書提出を求める請願書を文教厚生常任委員会に付託し審議した。本会議において請願書・意見書ともに全会一致で採択された。

※少人数学級などの定数改善とは？

令和3年度より公立小学校において段階的に35人学級が実施される。中学校や高校も同じ規模にするとともに、小学校も含めさらなる少人数学級を推進する要望。

※義務教育費国庫負担制度2分の1復元とは？

元々、義務教育学校教職員の給与等は国と都道府県が2分の1ずつ負担していたが、現在は国の負担3分の1、都道府県の負担が3分の2となり、この経費は国からの地方交付税で賄われている。一般財源が大きくなることで自治体による教職員の給与や教育水準に格差が生まれないよう、国の負担を2分の1に戻す要望。

発議第4号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

(総務建設常任委員会で内容を精査し議員発議)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、地方財政が非常に厳しい状況に直面している中、地方自治体においては感染症対策をはじめ、地方創生、防災・減災対策、脱炭素社会の実現等と共に社会保障等への対応が求められる。そのためには地方税財源の充実が不可欠である。

この意見書を議員発議で提出し、本会議において全会一致で原案可決した。



町民のために どう生かされた？

【歳出】
約161億
4000万円

決算審査特別委員会 ～令和2年度決算を問う～

横山善美委員長のもと、9月13日から15日の3日間の日程で開催され、各課の決算・事業成果に対し、議員から142項目にわたる質問が行われた。その一部を掲載。



選挙

問 高校生の政治に対する興味・関心を図る啓発の内容は。

答 朝倉地域選挙管理委員会協議会を主体とした、主権者教育を実施。一部の高校生を対象に、模擬選挙等を行った。

(総務課長)



平和

問 掩体壕の整備計画と資金確保は。

答 公園化にした場合、付帯整備も含めると膨大な金額となる。企業版ふるさと納税については、地域再生計画案を作り、その一つに戦跡保存のメニューをあげている。クラウドファンディングも含め十分検討する。

(大刀洗平和記念館館長)



一般公開に向けて整備が待たれる掩体壕

暮らし

問 通知カードが令和2年5月に廃止された。マイナンバーカード交付率をあげるための考えは。

答 交付率の向上のために、全庁挙げて取り組む必要がある。

(住民課長)

問 住宅リフォーム補助事業は、なぜ令和2年度で廃止なのか。

答 危険空き家除却補助の、新事業の取り組みもあり、財政全体の予算配分の中、事業を終了した。

(都市計画課長)

問 燃えるゴミ収集について、夜須地区と三輪地区で収集方法が違っているが。

答 三輪地区は戸別回収。拠点回収である夜須地区は集積所設置に補助金を交付している。行政サービス標準化等の観点から、今後調査研究する必要がある。

(環境防災課長)

問 法改正がされ、18歳成人になった場合の成人式はどのように考えているか。

答 名称は協議中だが、年齢は20歳で継続する。

(生涯学習課長)

問 多目的運動公園の不法投棄の対策は。

答 防犯カメラの設置をしている。

(生涯学習課長)

問 上水道の内線部未接続家庭の解消は。

答 現在、未接続者421件。工事申請中8件で昨年度より減っている。定期的に書類等を発送し解消に努めている。

(上下水道課長)

監査委員による決算審査報告



古山修治 代表監査委員

令和2年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算並びに基金の運用については、適正に執行されていることを確認した。町の財政状況は、実質単年度収支が赤字から黒字へと好転しており、経常収支比率も改善傾向が認められた。

今後、想定外の災害や新型コロナウイルス感染症による景気後退が予想されるなど、財源の確保については厳しさを増すものと思われるため、きめ細やかな財政運営について、町当局の特段の努力を望む。

いづも

問 美和みどり保育所の建替えについての考えを。

答 劣化が懸念される。まずは関係機関と協議する。

(こども課長)

答 財政面で計画は立てている。個別箇所改修で済むか、全体的な更新が必要かを、今後検討していく。

(副町長)

情報網整備

問 ブロードバンド加入促進事業は。

答 通信技術の発展に遅れることなく、情報インフラの維持ができるよう、運営事業者と連携している。

(企画課長)

問 道の駅みなみの里は情報発信ができていないのでは。

答 他課と連携し、対策を講じる。

(建設課長)

教育

問 埋蔵文化財センター設置の進捗状況は。

答 今年度は基本設計を行う。来年度実施設計、それ以降に着工となる予定。

(教育課長)

問 中学生英語スピーチコンテストのDVDを、小学生に見せたら英語が身近になるのでは。

答 非常にいいことだと思うので、検討したい。

(教育課長)

問 読書通帳は何名が利用しているのか。

答 8月末で650冊を発行している。

(生涯学習課長)



本との思い出もいっぱいに
(読書通帳)

まちづくり

問 みんなで創る里づくり事業の申請は、ハードルが高いのでは。

答 計画後、すぐに実行できないところ等が、手続き上の支障となっていないことも考えられるため、見直しを検討する。

(企画課長)

問 ラジコン草刈り機の貸出し実績と今後の方向性は。

答 令和2年度の貸出し実績は全体で29件。

(建設課長)

答 今後、議論しながら貸出し等の方向性を決めていきたい。

(副町長)

問 新型コロナウイルス感染症で開催できなかった町政報告会の措置として、DVDを作成し活用した成果は。

答 町ホームページと道の駅のフロアロビーで配信し、町の情報を町内外に発信した。

(総務課長)

財務・税務

問 町税納入でキャッシュレス決済を使っている自治体もあるが、活用の予定は。

答 納税者の利便性向上、徴収率向上の面や、導入費用、ランニングコストを含めた費用の面等、総合的に判断したい。

(税務課長)

問 財政調整基金の積立額が20億円に達している。今後は町民に還元しては。

答 経済情勢の変動による減収や、災害等の不測の事態に備え、持続的な財政運営を実現する上で一定額の確保が必要である。

(財政課長)

問 10月1日からのたばこの値上げによる税収見込みは。

答 たばこ税は、千本あたり6122円から6552円に改正される。なお、現時点での税収への影響は不明だが、提出される申告書を注視していく。

(税務課長)

福祉と健康

問 発達障がい児が増えているように見受けられるが、どのように対処していくのか。

答 専門機関への受診を勧めているが、数か月待ちの状況。受診までの間を療育教室等でフォロー。保護者了解のもと、健康課とこども課で発達に関する情報を共有し、近隣の療育機関と連携対応を行っている。町独自の療育センター設立は課題が多く、広域連携等で対応していきたい。

(健康課長)

問 高齢者見守りネットワークの現状は。

答 ほぼ全地区で補助が終了しているが、声掛け運動等、地域に応じた取り組みが継続されている。地域の見守り会議等に福祉課が参加し、情報提供やアドバイス等の人的支援を継続しながら、補助が必要であれば検討する。

(福祉課長)



世代を超えた健康づくりを

問 高齢化が進行する中、どのような形で医療費を削減していくのか。

答 今年度から、福祉課と連携して、高齢者の保健事業と介護予防の一体化実施事業に取り組んでいる。高齢者の健康づくりへの意識が高くなり、効果・成果が出てくれば医療費抑制にもつながると期待している。

(健康課長)

農業

問 機械利用組合等の小規模農家に対しては、スマート農業補助があるのか。

答 補助要件をクリアすれば、受益地に対して1回に限り、機械の導入補助が受けられる。昨年から集団営農組織にも認められた補助がある。

(農林商工課長)

問 竹林は荒廃森林に適用されるのか。

答 人工林の生長を阻害する侵入竹の除去に限定されている。チップ化し、肥料等として循環させる研究を行っている。

(農林商工課長)



令和3年9月定例会

全会一致で可決・承認した議案等

報告	株式会社筑前町ファーマーズマーケットみなみの里の経営状況	補正予算	令和3年度筑前町一般会計補正予算(第6号)
	令和2年度筑前町財政健全化判断比率		令和3年度筑前町一般会計補正予算(第7号)
	令和2年度筑前町公営企業の資金不足比率		令和3年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
承認	【専決処分】令和3年度筑前町一般会計補正予算(第5号)		
	令和3年度筑前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		
条例	筑前町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	その他	財産の取得(庁舎等に設置する顔認証サーマルカメラ)
	筑前町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定		財産の取得(校務用ノートパソコン)
	決算	令和2年度筑前町工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	請願
令和2年度筑前町下水道事業会計決算の認定		発議	「少人数学級推進などの定数改善」「義務教育費国庫負担制度2分の1復元」を求める意見書
令和2年度筑前町水道事業会計決算の認定			コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

賛成多数で可決・承認した議案

区分	議員名	寺原	柳	持山	石橋	木村	深野	田口	山本	奥村	山本	木村	河内	横山
		裕明	雅明	英幸	里美	和彦	良二	譲司	一洋	忠義	久矢	博文	直子	善美
決算	令和2年度筑前町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	令和2年度筑前町一般会計歳入歳出決算の認定	(反対討論)河内:部落解放同盟に対する補助金618万6000円余は多額である上、そのほとんどが人件費であり疑問に思う。3市町村で補助金削減に対する協議もされていない。また、コロナ禍の中、財政調整基金を積み立てるのではなく、地元中小事業者等への応援を行うべきだった。												
		(賛成討論)深野:部落解放同盟はあらゆる差別の撤廃に資する活動をしている。補助金は、人件費を含め朝倉地区3市町村で協議・合意されたものであり、監査委員の補助金決算状況審査でも指摘はなく問題視されるところはない。												
	令和2年度筑前町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
決算	令和2年度筑前町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	(反対討論)河内:関係者の努力と国民健康保険税の引き上げにより、近年、一般会計からの法定外繰入もなく黒字に転じている。しかし、1億4870万円も基金に積み立てるのではなく、黒字分は高すぎる保険税の引き下げに使うべきと考える。												
		(賛成討論)木村博文:新型コロナウイルスの影響や納付金の不透明性による不安要素があることから、黒字による基金積み立ては今後の、安定的に継続した国保財政運営のための大切な財源になると考える。また、特定検診をはじめ、重症化予防・医療費抑制を図る取り組みに継続的に努めている。												
	令和2年度筑前町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
		(反対討論)河内:75歳という年齢だけで医療を差別する制度そのものに反対。75歳以上の人口が増えるほど保険料が上がり続ける制度であり、一方で年金は下がり続けている。一日も早く元の老人保健制度に戻すべきである。												
決算	令和2年度筑前町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	(賛成討論)横山:被保険者一人当たりの医療費は、平成27年度から県内で10位以内という高水準にあり、医療費抑制の大きな課題を抱えている。このような中、広域連合と連携しながら高齢者の医療費抑制対策や健康づくりに努めている。												
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	令和2年度筑前町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定	(反対討論)河内:平成28年度には完了すべき事業が、いまだ57件、1億1600万円を超える滞納がある。関係課の苦勞は分かるが、このままでは完了まであと何年かかるか分からない。後に続く職員の負担にならないように、法的措置も視野に入れ、早期回収に取り組むべき。												
		(賛成討論)石橋:国の運営方針に従い、事業の目的や背景を踏まえ、これまでも歴代の担当者が早期完納に向け努力してきている。分納計画に従い、毎年数件完納している。今後も、収納対策アドバイザー等の指導のもと適正な業務遂行が行われると認められる。												

議長 田中政浩は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。



町政を問う

一般質問

9月議会では、5名の議員が一般質問を行い、町政全般の現状や方針について報告や説明を求めた。

9月定例会

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。詳細は会議録（ホームページ・図書館設置）をご参照ください。



◆柳 雅明 議員…………… P9

新型コロナワクチン接種

◆寺原 裕明 議員…………… P10

安心・安全を目指す町の交通安全対策は

◆奥村 忠義 議員…………… P11

ハラスメント防止策は

◆河内 直子 議員…………… P12

炭焼き窯隣地が喫煙所に

◆持山 英幸 議員…………… P13

国道下の^{あんきよ}暗渠水路改善を



一般質問席はアクリル板を設置し、質問者の交代ごとに消毒を行っています。そのため、マスクを外して質問をする場合があります。



令和3年第3回定例会 (9/6～9/17)

本会議開会3日間

(開会日・一般質問・閉会日)

インターネット
ライブ中継
アクセス件数

211件



柳 雅明 議員

新型コロナワクチン接種

接種年齢変更16歳以上から12歳以上へ

児童生徒への接種は

柳 どのような形で接種を考えているのか。

教育課長 学校での集団接種は考えていない。

副町長 町設置での集団接種及び町内の協力医療機関での個別接種となる。

柳 受験生への接種は。

副町長 中3の高校受験生は接種年齢に達しており、小6の中学校受験生に關しては、12歳に達していれば接種可能である。今後のワクチン供給状況等を確認し対応していく。なお、子どものワクチン接種については、本人・保護者の十分な理解のもとで行っていただきたい。

柳 医療機関での接種方法と、接種券の発行時期は。

副町長 現在16歳以上の接種券は発送済み。12歳以上の対象者は、今回9月生まれの方まで発送。その後は誕生月に毎月発送予定。別途希望の接種機会を設ける必要があるとも考えている。検討したい。

柳 子どもたちを守る安全対策は。

教育課長 従来の対策に加え、部活制限・授業短縮・タブレットの活用等。家庭内では感染防止のため保護者の接種推奨。

柳 不織布マスクの推奨と欠席の場合。

教育課長 マスクは保護者の判断に任せる。登校できない児童については、学校授業のライブ配信で対応。



ワクチン接種がすすんでいる

幹線道路沿線における流通施設等の開発を

柳 県道久留米筑紫野線の4車線化に伴う大型開発の認可についての法整備は。

町長 本町は、ほぼ全域に都市計画区域を設定しており、建築基準法の適用になり、土地利用制限がなければ、企業立地も可能。しかし、幹線道路沿いは農振地域として法規制がかかり、規制解除しない限り町の構想も実現できない。

森林経営管理制度に伴う意向調査

柳 意向調査は、委託業者のみが行うのか。

農林商工課長 当面は、対面で不安を解消しながら、森林所有者に説明会を開催していく。

柳 町は森林所有者から管理できない山林の経営管理の委託を受け、林業経営者に再委託するが、県登録の業者はあるのか。また町の体制は。

農林商工課長 筑前町を再委託可能な区域として、県登録は8経営体。町の体制としては、持続可能な体制をとって、管理政策を進めていく。



増加する竹林

寺原 裕明 議員



安心・安全を目指す町の交通安全対策は

警察等関係機関と連携して取り組む

**篠隈新道区防災公園
地点に横断歩道の
新設を**

寺原 横断歩道設置の要望に対して、町の対応はどうなっているか。

教育課長 令和2年度に新設の要望が出ていたが、朝倉署の判断で設置は難しいとなっていた。今年度も地元からの要望が上がつているとの報告があつている。

寺原 2年続きの要望で、現場の点検も行われている。経過の説明を。

建設課長 教育課と連携した点検でも、危険箇所として報告されている。地元の熱心な活動による調査結果及び横断歩道設置の条件もほぼ満たしている。朝倉署から県警本部や県公安委員会に対し

て、要望の進達が検討されている。町からも朝倉署に対して、設置のお願いをしている。

寺原 篠隈新道区住民の方たちの真摯な、熱意ある取り組みによって要望書が提出されている。住民の安心・安全が守られるよう、横断歩道の設置に向けて、今後とも取り組んでいただきたい。



横断歩道設置要望地点
(前方は「やすらぎ荘入口」交差点)

**三並小児童の通学に
ちくちゃんバスの
利用を**

寺原 学校までの距離が長い長者町区の児童たちに、ちくちゃんバスの利用ができないか。三並小の在校生数の維持にもつながると考えるが。

教育課長 一部従来からの路線バスを利用した通学を認めているケースもあるが、徒歩による通学距離は4kmを目安としている。現在のところは交通機関の新設は考えていない。

寺原 ちくちゃんバスの活用を広げる一方策として、通学時の利用は有効ではないか。担当課の考えを。

企画課長 必要に応じて検討は可能と考える。その際は町の方針を検討した上で、協議をしていくことになると思う。

寺原 児童の安心・安全を守るためにも、引き続き検討してもらいたい。

その他の質問

国道386号歩道整備
事業の進展について



奥村 忠義 議員

ハラスメント防止策は

周知徹底を図っている

ハラスメント対応は

奥村 職場内でのパワハラに対する対応は。

総務課長 年度当初に課長級を対象に協議して防止に努めている。

奥村 職員がハラスメントを起こした場合の処分は。

総務課長 事実関係が認定されれば、必要な措置がなされる。

奥村 ハラスメントが周囲に与える影響は、どのように考えているか。

総務課長 職場環境を悪化させる行為には、適切な措置を考える。

「ハラスメント」

人を悩ますこと。
地位や立場を利用した嫌がらせ。

広辞苑 第七版
(岩波書店)

ハラスメントの定義

奥村 様々な立場にある職員の職場環境の実態を把握しているか。

総務課長 相談しやすい環境設定に努力していく。

適正な人員配置は

奥村 各職場での適正な人員配置、及び予算執行はなされているか。

教育課長 現行の人数で適正に運用している。

奥村 同一労働・同一賃金は適正に行われているか。

町長 同じ職務でも、職員と会計年度任用職員では責務の差がある。しかし、期末手当の支給などの是正が図られている。

生活困窮世帯の支援

奥村 コロナ禍での食の確保や戸別支援は行っているか。

こども課長 関係機関と連携しながら、交付金等を活用して個別に対応している。

奥村 子どもの貧困がコロナ禍の前を上回るとユニセフが発表しているが。

こども課長 支援については、申請すれば担当課で手当や減免等の措置を行っている。



支援の輪を広げよう

河内 直子 議員



炭焼き窯隣地が喫煙所に

町として今後検討していきたい



炭焼き窯跡の隣地にできた喫煙所

消えた炭焼き窯

河内 昭和30年代の農の暮らしをイメージした風物詩が、次々となくなっている。(みなみの里の炭焼き窯・安の里公園の水車等)都会の喧騒から逃れ、立ち寄った筑前町で、昭和の時代のシンボリックな建造物を目の当たりにした時、どう思うでしょうか。「とかいなか」を指している町として、炭焼き窯の撤去についての見解は。

町長 一番シンボリックな場所でもあり、意見等を参考にしながら、今後検討していきたい。



どんなシンボルができるのやら

給食費の公会計化は

河内 公会計化を進めるに当り、前回の質問から3年以上経ったが、今後の方向性は。

教育課長 今後、県の情報提供や他自治体の動向を注視しながら進めていきたい。

通学路にグリーンベルトを

河内 野町の通学路へのグリーンベルト設置について、前回質問以降の進捗状況は。

建設課長 今後、特に大きな被災等がなければ、本年度中に工事が実施される見込み。

公園の管理は大丈夫？

河内 安の里公園の北東側に張つてある防護ネットが、長い間、破れて垂れ下った状態で放置されている。改修の計画はあるのか。

都市計画課長 昨年、2カ年計画で、高さ1.5mのブロンズフェンスで改修工事を行なっている。

河内 壊れたネットを放置しないで、撤去をお願いする。

待機児童は解消できるのか

河内 朝日東交差点付近に、来年4月に開設される保育所で、待機児童解消に繋がるのか。

こども課長 減らすことはできるが、解消までは難しい。今後も、解消に向けて、努力していく。



開園が待たれる あい保育園朝日(仮称)



持山 英幸 議員

国道下の暗渠水路改善を

朝倉県土整備事務所と協議し改善する

農業施設をはじめとした環境整備を

持山 国道386号の下を通る水路の暗渠が狭くて、大雨が降るたびに、上流が冠水し法面の崩落が起きている。改善を要望する。

建設課長 朝倉県土整備事務所・町・地元で協力し、水路の正常な管理に努めていく。



国道386号下を通る水路
(総務建設常任委員会視察の様子)

持山 農地の区画整理が行なわれたと同時に、取り付け道路も整備されたが、年月が経ち窪みが目立ちはじめた。危険な箇所があるため補修をお願いしたい。

建設課長 道路の舗装工事は町の単独事業であり、財政的にも限度があるが、地域の安全のため改善を図っていきたい。

持山 町では、水田の暗渠排水が進んで、畑作物の作付けには、非常に良い結果をもたらしている。しかし、数年も経てば機能が薄れてくる。排水管掃除の助成。

農林商工課長 地域で農地を守る交付金で取り組んでもらいたい。

営農生産組合の法人化へ向けて

持山 少子高齢化による、後継者、人手不足を解消するために、非農家の方々の手を借りるための対策を考える時期ではないか。

農林商工課長 法人化に向けた支援については、普及センター等の関係機関と連携して、引き続き支援したい。

交差点道路上の表示について

持山 交差点の道路標示が消えて非常に危険。早急な対応を。

建設課長 地元や関係機関と連携しながら安全対策を講じる。



一部が消えかかった道路標示

持山 今後の取り組みについて町長の見解は。

町長 それぞれ全てが重要であり、優先順位を決め方向性を出し、県の関係機関と協議し進めていく。

一般質問『どうなった？』

その後

過去に議員が行った一般質問が、その後町政にどう活かされたのか追跡調査しています。

中島池下流域の 安全対策は (令和2年6月定例会)

大雨に対応できる安全確保の対策が必要であるが。

東小田小プールに ひさし 庇の設置を (令和元年9月定例会)

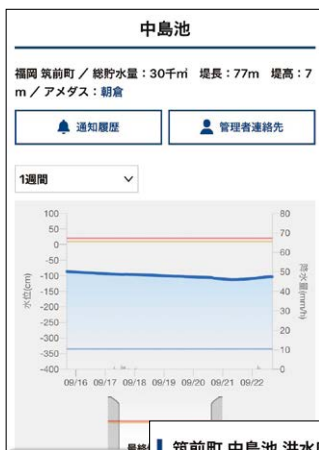
水泳の授業や夏休みのプール解放時、児童や保護者の猛暑対策として日除けの庇を設置してもらいたい。

質問

地元からの要望もあり、中島池に水位計・監視カメラ設置を補助する。
(農林商工課長)

庇が未設置の学校については、子どもの安全管理のために日除け対策を検討していきたい。
(教育課長)

答弁



令和3年1月、中島池に水位計及び監視カメラが設置された。

水位計の画像

監視カメラの映像

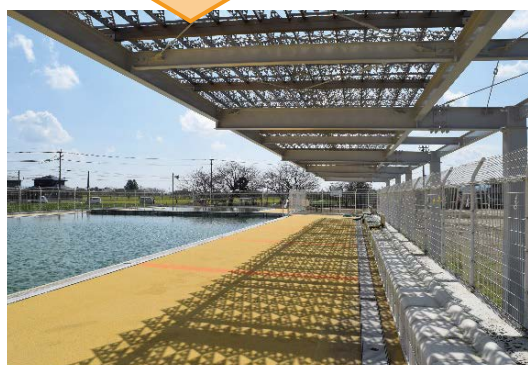


※水位計・監視カメラは牧の池と中島池に設置されている

令和2年度、東小田小学校プールに日除けの庇が設置された。強風対策として、最新型の庇が設置されている。



日除けがなかったプールに…



まるで木漏れ日のような日陰

どうなった？



コロナに負けるな!

第4弾

コロナに負けない筑前町に!

「コロナに負けるな」シリーズ第4弾では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業^(※)で行った様々な事業、そしてこれから行う新たな事業を紹介します。

(※) 地方創生臨時交付金は、コロナ対応のための事業に限り、原則地方公共団体が自由に使うことができる交付金です。

これまで行った事業 令和2年度 48事業を実施

学校保健特別対策 事業費補助金 1902万円

小中学校の感染症対策に伴う備品購入費等。

コロナ対策行政区 支援金事業 2168万円

感染防止対策や収束後の活動に対し支援金を給付。

中小企業・小規模事業者 農業者緊急支援 6160万円

1か月の売り上げが前年同月比30%以上減少している事業者等に対し一律10万円支給。

ひとり親世帯支援事業 884万円

児童扶養手当受給世帯に3万円を支給。

インフルエンザ 予防接種助成事業 1511万円

16～64歳のインフルエンザ接種費用を助成。

他にも様々な事業が実施されました。事業の決算・成果等については9月定例会の決算審査特別委員会で審議・認定されました。

これから実施する事業 令和3年度 30事業を計画・実施予定

ちくぜん食の仕送り便事業 1000万円



町内在住者が、全国の家族等にふるさとの味を配送する際の送料を町が全額負担するため、商工会に補助金を交付する。

育ち盛り子どもたちの 「食」の応援事業(年内実施予定) 2220万円



町内の0～18歳の子どもがいる世帯支援のため、1人につき10kgのお米等を配付する。

感染症防止協力飲食店等支援金 415万円

県の支援金を受けている飲食店及び酒類販売事業者への独自支援。(5万円/店)



他にも様々な事業が実施される予定です。議会は、今後も事業内容等について検証していきます。

まちかどスナップ



今年生まれた赤ちゃん牛(高上)

コロナ禍で、多くの人の日常に様々な変化があった1年だったのではないのでしょうか。

今年の干支は「^{うし}丑」でした。ゆっくりと干支を思い出すこともなかったかもしれません。

2021年も残すところあと2ヶ月となりました。来年は、「**モ〜と**」良い年になりますように！

筑前町ファーマーズマーケット
みなみの里

道の駅 筑前みなみの里

すくすくと育っています



※令和3年9月定例会で、筑前町ファーマーズマーケットみなみの里の経営状況について報告がありました。

令和3年12月定例会日程(予定)

12月3日(金)~12月10日(金)

一般質問

12月7日(火)・8日(水)

※日程は変更になる場合があります

一般質問通告書は、11月22日以降、ホームページで公開する予定です。支所窓口や議会事務局でも配布しています。

発行責任者				
議長 田中 政浩				
議会広報特別委員会				
委員長 石橋 里美	副委員長 柳 雅明	委員 寺原 裕明	委員 木村 和彦	委員 河内 直子

福岡市では来年度から夜間中学が開校する予定だ。子どもの頃に学校に通えなかった人や言葉がわからない外国籍の人などが、ここで勉強できる。人が「わかるようになりたい」という気持ちは、子どもも大人も変わりはない。

コロナ禍の中で、タブレットを使ったオンライン学習が進められている。とても便利ではあるが、新たな学習システムに慣れるまでは、先生方も子どもたちも大変である。学校と家庭との学習データのやり取りが、うまくいかない事態も起きるだろう。

学習環境の違いで「わかる」「わからない」の差ができないよう、支援が必要である。(寺原 裕明)

編集後記